

中学校区における、互いの学力向上特配（A教諭、B教諭）を活用している例（中学校免許外指導解消、小学校外国語活動）

校名	千代田町立西小学校									千代田町立千代田中学校											
学級数	学年	1	2	3	4	5	6	特支	計	学年	1	2	3	特支	計						
	学級数	2	3	2	2	2	2	1	14	学級数	4	3	3	1	11						
特配教員活用状況	A教諭（千代田西小置籍 前期週2 1時間 後期週2 2時間）																				
	<ul style="list-style-type: none"> ○毎週月・水・金曜日に小学校で一日勤務 ○3・4年理科（週3時間×4学級＝12時間）担当 ○クラブ活動1時間担当 									➔						<ul style="list-style-type: none"> ○毎週火・木曜日に中学校で一日勤務（小学校へ出勤後） ○4～9月 1年技術（週2時間×4学級）担当 10～3月 2年技術（週2時間×3学級）と 3年技術（週1時間×3学級）担当 					

	○担任外																				
成果	B教諭（千代田中置籍 週1 9時間）																				
	<ul style="list-style-type: none"> ○6年外国語活動（週1時間×2学級）担当 ○木曜午前に西小勤務 									←						<ul style="list-style-type: none"> ○1年英語（週1時間×4学級＝4時間）担当 ○2年英語（週1時間×3学級＝3時間）担当 ○3年英語（週2時間×3学級＝6時間）担当 					

課題	○3年担任（道徳1時間、学活1時間、総合2時間）																				
	<ul style="list-style-type: none"> ○中学校英語教諭が説明もできるだけ英語を使って行い、児童が理解できないときには、日本語で説明し直すなどして、テンポよく授業を進めることができている。 ○中学校英語教諭が児童の反応をよく見て、よく声かけをしているので、児童のやる気を引き出している。 ○夏季休業中に、中学校英語教諭とALTとの授業の進め方についての研修を進めたことにより、6年担任も不安はあるものの、授業実践に取り組む意欲が持てるようになってきている。 															<ul style="list-style-type: none"> ○中学校には技術科の免許を持っている教員がいないので、担当教員が来校することにより、専門的な指導を行うことができ、生徒も興味・関心を持って授業に取り組むことができている。 ○授業を毎週火・木曜日に組んでいるため、担当する教員が来校する時間が不規則でなく、定期的であるため、中学校としての準備が容易である。 					
課題	<ul style="list-style-type: none"> ○中学校教諭とALTの打合せはできているが、中学校教諭と担任との打合せはほとんどとることができていない。 															<ul style="list-style-type: none"> ○担当教員が来校する日が決まっているため授業の組み替えが困難であり、クラスによって授業時数にばらつきが出てしまっている。そのため、授業時数の均等化が図れるように小中で連携して年間の行事計画等を立てていけると良いと考える。 					

